サンフランシスコ校（幼小部・中高部）・サンノゼ校（幼小部・中高部）

カリフォルニアの風

第７号 令和８年10月22日発行
サンフランシスコ日本語補習校
校　長　　相　澤　　順

日本語の力を育てる

補習校に通う子どもたちの多くは、「日本語がもっと上手になりたい」「国語の力を伸ばしたい」という思いをもって学んでいます。一方で、日々の生活では英語を使う時間が長く、補習校で学ぶ日本語をどのように身につけていけばよいのか、難しさを感じることもあるのではないでしょうか。

日本語の力を伸ばすために、特別なことをしようとすると大変です。大切なのは、毎日の生活の中で日本語に触れる時間を少しずつ増やしていくことです。

例えば、「本を読むこと」。これが一番身近な方法だと思います。日本語のマンガだけではなく、小説、図鑑、伝記、雑誌、興味のある分野の本など、まずは「読んでみたい」と思えるものからで構いません。齋藤孝氏の『子どもの日本語力をきたえる』でも、日本語力を鍛える基本として読書の大切さが述べられています。

そして、もう一つ大切なのが、「知らない言葉をそのままにしない」ことです。日本の教科書や本を読んでいて、「この言葉はどういう意味だろう」と思ったら辞書で調べてみる。家族との会話の中で初めて聞いた言葉があれば、「それはどういう意味？」と聞いてみる。そうした小さな積み重ねが、使える言葉を増やしていきます。

さらに、読んだ本について「どんな話だった？」「一番心に残ったところは？」と誰かに話してみることも大切です。読むだけで終わらず、自分の言葉で説明してみることで、言葉は少しずつ「知っている言葉」から「使える言葉」へと変わっていきます。

補習校での学びは、土曜日だけで完結するものではありません。家庭で本を一冊開く、知らない言葉を一つ調べる、家族と日本語で少し長く話してみる。そんな小さな心がけが、やがて大きな日本語の力につながります。

「日本語を勉強しなければ」ではなく、「日本語で分かった、読めた、伝わった」。そんな経験を一つずつ増やしていきたいものです。学校とご家庭が一緒になって、子どもたちの日本語の世界を少しずつ広げていきましょう。

後期も学校生活をよりよくする取組に期待しています！

本校は週１日の限られた時間の中でも、児童会や生徒会、図書委員会の活動を中心に、学校生活をよりよくするための取組が活発に行われています。学校や仲間のために、自ら進んで委員や役割を引き受ける児童生徒も多く、大変頼もしく思っています。幼小部の2校では、後期から新メンバーによる活動が始まったところです。

よりよい学校生活や学習環境をつくるためには、各委員会の活動はもちろん、４つの学校に集うすべての皆さんの協力が必要です。残り１８回の登校日でも、学級や仲間、学校のためにできることを考え、行動する幼児・児童・生徒の皆さんの姿や、活躍を楽しみにしています。



【10/3 全校朝会。前期委員の皆さんの取組を、幼児児童全員の大きな拍手でたたえました。：幼小部SF校】

「いじめ」の未然防止に向けての取組：中高SJ校



【動画を見ながら意見交換（中 1の様子）】

中高部サンノゼ校では、学級活動の時間や振り返りタイムを活用し、全クラスで「いじめの認知」について学習しました。動画を視聴したり、ワークシートに記入したりするほか、具体的な場面を想定して「自分ならどう行動するか」を考える話し合いも行い、理解を深めました。

活動の中では、生徒一人ひとりが自分の経験や、日米の文化的な違いを踏まえ、「いじめ」とは何か、「からかい」や「いじり」とは違いがあるのかなど、意見を交わしました。何気ない言葉のやり取りでも、受け取る側が深く傷つくことがあることや、SNS上の言葉や投稿が思わぬトラブルにつながることなど、さまざまな視点から考える姿が見られました。

また、生徒会のメンバーからは、補習校では把握しにくい現地校での実際の様子を踏まえた意見も寄せられ、今後の学校の対応を検討する上で大変参考になりました。

こうした生徒会からの提案を受け、本校では生徒が気軽に相談できるよう、Google フォームを活用した「相談システム」の導入を進めています。今回の学びを通して生徒一人ひとりが、「いじめ」の兆しに敏感になり、互いを思いやる言動を心がけてくれることを願っています。今後も教職員一同、生徒とともに、誰もが安心して学べる環境づくりに努めてまいります。（主幹 渡邉）

「日本の食べ物に舌鼓！」　フードセール開催：中高SF校



【みんなマナーよく、購入しています】

９月26日、さわやかな青空のもと保護者会の皆様主催、フードセールが行われました。メニューはカツカレー、ラーメン、フルーツサンドなど日本でもなじみ深い食事やデザートが用意されました。また、煎餅やグミなど人気のお菓子も多数販売されました。

全校朝会で、「ありがとう」を伝えるときはおうちの方が自分のために割いてくれた時間や、喜ばせたいという一心で準備してくださった温かい気持ちに、深く思いを巡らしてほしいと話しました。みんなお礼を言っていて、笑顔が輝いていました。コロナ禍以降、食べ物を扱う行事に慎重さが求められる中、こうして生徒たちのためにご尽力くださった皆様に心から感謝いたします。（教頭 和地）

授業風景より「振り返りタイムで百人一首」：幼小SJ校



３年生以上の学級では 振り返りタイムの時間、課題への取組が終わると、数分間でも熱心に百人一首に興じる子どもたちが多く見られるようになっています。日本語や日本の古典、そして伝統文化に親しむ絶好の機会です。５・6年生の間では、６月の集中学習に続いて2回目となる学年対抗戦が計画されており、子どもたちは張り切っています。



昼休みの風景より　「けん玉がブームに！？」：幼小SF校

昼休み、倉庫に眠っていたけん玉をまず２つ、ヤードに持っていくと「やっていいの？」と子どもたちが集まり、あっという間に順番待ちの列ができました。「膝の屈伸を使うんだよ」という言葉通りに膝を曲げて必死に練習する子や、見事な技を披露してみんなから喝采を浴びる子も。翌週のけん玉は２個から７個に増え、来週も少し増やす予定です。幼小SFにけん玉ブーム到来の予感！